

事務事業チェックシート

事務事業No 506 事業名 公共下水道の雨水排水事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組方針	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業種別	継続	
事業期間	S46	H50
事業実施の根拠法令	下水道法・都市計画法	
関連個別計画	和歌山市都市計画下水道（公共下水道）	
担当課・担当課長（Tel）	下水道経営課	新好司（073-435-1093）
関連課	下水道管理課、下水道施設課、下水道建設課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道建設費		
	目	下水道建設費		
	大事業	下水道建設事業		
事項	公共下水道の雨水排水事業（補助・単独）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	公共下水道区域内（主に市街化区域内）において、公共下水道施設（雨水管渠・雨水ポンプ場等）を整備し、雨水を排除することにより、浸水被害を軽減させる。	公共下水道管渠（雨水）の埋設・改築 公共下水道施設（雨水ポンプ場）の設置・増設・改築 ≪事業の流れ≫ （都市計画決定）→事業計画へ位置づけ→管渠・施設の基本設計→管渠・施設の詳細設計→管渠・施設の設置工事→供用開始→（必要に応じ）ポンプ等の増設→施設の劣化度等の調査→（必要に応じ）長寿命化計画策定→長寿命化計画に基づき、改築工事 * 3 目標及び実績 において掲げた目標値は、平成28年度までは第4次長期総合計画、平成29年度以後は第5次長期総合計画におけるものである。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		雨水管渠整備延長約1.3km 和田川排水区 湊南第2排水区 矢田川排水区 有功排水区 雨水ポンプ場 和田川雨水簡易ポンプ場 新堀雨水ポンプ場	雨水管渠整備延長約2.2km 貴志排水区 有功排水区 大門川排水区 和田川排水区 湊南第2排水区 西浜第1排水区 雨水ポンプ場 新堀雨水ポンプ場 加太雨水ポンプ場 和田川雨水簡易ポンプ場 島橋雨水ポンプ場	雨水管渠整備延長約0.6km 有功排水区・野崎排水区 湊南第3排水区 今福排水区・貴志排水区 新堀排水区・中之島排水区 湊南第2排水区 和田川排水区 大門川排水区 雨水ポンプ場 新堀雨水ポンプ場 和田川雨水簡易ポンプ場 島橋雨水ポンプ場 加太雨水ポンプ場	雨水管渠整備延長約2.1km 今福排水区・有功排水区 新堀排水区・中之島排水区 湊南第2排水区 杭ノ瀬川第3排水区 和田川排水区 雨水ポンプ場 新堀雨水ポンプ場 和田川雨水簡易ポンプ場 島橋雨水ポンプ場	雨水管渠整備延長約2.8km 有功排水区 中之島排水区・新堀排水区 湊南第2排水区 湊南第3排水区 杭ノ瀬川第3排水区 大門川右岸第4排水区 雨水ポンプ場 新堀雨水ポンプ場 和田川雨水簡易ポンプ場

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,782,538	2,028,693	1,454,702	1,712,971	1,499,441	1,455,428	1,108,039		1,108,039	
伸び率（%）	-	-	▲47.7%	▲15.6%	3.1%	▲15.0%	▲26.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	144,993	118,660	118,660	128,996	128,996	128,893	125,367	122,050	
	正規職員以外									
小計	144,993	118,660	118,660	128,996	128,996	128,893	125,367	122,050		
国庫支出金	1,150,350	864,573	521,150	672,315	584,500	583,100	388,700		388,700	
県支出金										
市債	1,594,833	1,161,500	899,900	1,008,300	906,500	840,600	703,400		703,400	
その他	60	2,611	2,015	546	2,015	161	2,000		2,000	
一般財源（税等）	37,295	9	31,637	31,810	6,426	31,567	13,939		13,939	
所要人数（人）	正規職員	19.39	15.95	15.95	16.96	16.96	16.19	15.77	16.04	
	正規職員以外									
主な予算内訳	雨水管渠整備工事 837,000 調査設計委託 24,000		雨水ポンプ場整備工事 146,300							

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
活動指標	都市浸水対策整備対象区域（3,550ha）内の浸水対策整備済面積[公共下水道（雨水）整備済面積] 累計	ha	1,760	1,746	99.2%	1,775	1,758	98.9%
		ha	20	15	75.0%	15	9	60.0%
		ha	20	-21	105.0%	20	2.6	13.0%
成果指標	都市浸水対策達成率	%	49.7	49.2	99.0%	50	49.5	97.9%
		%	0.56	0.42	75.0%	0.32	0.07	21.9%
		%	0.56	0.42	75.0%	0.56	0.07	12.5%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本市の市街地は平坦であり低地帯も多く、浸水常襲地域が多数存在する状況にある。また、近年の集中豪雨の発生等を受け、市民の浸水被害軽減への要望が増大しており、早急な浸水対策が必要であると考えられ、現事業計画区域内の整備を鋭意進めていく。</p>
見直し・改善内容	<p>(雨水整備) 浸水被害軽減のため、現事業計画区域内の整備を引き続き進めていく。</p> <p>(改築・更新) 汚水整備と同様に、下水道施設(管渠含む)の老朽化が進む中で、下水道施設全体を対象とし、その状態を点検・調査等によって客観的に把握、評価、長期的な施設の状態を予測しながら、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えて下水道施設を計画的かつ効率的に管理することを目的とした下水道ストックマネジメント計画の策定に取り組む予定です。</p>